

| | |
|--------------------------------------|--|
| 平成 24 年度第 3 回 医療法人社団主体会倫理委員会 会議記録の概要 | |
| 開催日時 | 平成 24 年 7 月 30 日 16 時～16 時 30 分 |
| 開催場所 | 小山田記念温泉病院第 3 会議室 |
| 出席委員 | 毛受、鈴木、北村、田中、牧野、家崎、浅野、大西 (敬略称、順不同) |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 和田 美奈子 |
| 研究名 | 呼吸抵抗モデルによる横隔膜法を使用した呼吸機能評価の検討 |
| 研究内容 要旨 | 呼吸抵抗と横隔膜の関連性を示す研究は目下のところ見当たらず、横隔膜法により呼吸機能評価が可能となれば、被験者の努力性、協力性に依存せず、早期より呼吸機能評価が可能となります。また、これまでスパイロメトリーでは評価困難であった症例に対しても評価可能となり、リハビリにおいて呼吸不全を伴った患者の呼吸機能評価や、急性期の呼吸不全患者のリハビリにおいて運動負荷量の評価や呼吸機能状態を容易に評価が可能となりリスク管理において有用と考えます。また、呼吸介助など呼吸リハビリを行う際に呼吸機能状態を確認しながら実施できる為、介入効果をリアルタイムに確認する事が可能となり、非常に有用な評価方法となると考えます。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 前回の倫理委員会の意見に沿って研究計画が修正されている。 研究方法の開口部直径 5m を 5mm に訂正する。 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 野原 英治 |
| 研究名 | 下剤に頼らず、自然排便ケアを目指す ～チームアプローチによる取り組み～ |
| 研究内容 要旨 | 長時間の臥床や運動不足により、腸内活動が低下し、自然排便が促されていない患者 8 名（「内訳」経管栄養者 4 名、経口摂取者 4 名）を対象にし、運動療法・食事療法の観点から、他職種との連携を図る。その後、3 ヶ月を通じた排便の変化をアセスメントする。 |
| 審議結果 | 差し戻し |
| 意見 | 実施責任者から一部研究計画を変更したいとの申し出により、差し戻しとした。 問い合わせ先の電話番号を正しく記載する。 |
| 新規研究計画の審議 | |

| | |
|------------|---|
| 申請者 | 平尾 奈緒美 |
| 研究名 | 在宅介護者の負担感とその要因について |
| 研究内容 要旨 | 在宅で介護をしている主介護者の介護負担感とその関連とされる要因について調査し、リハビリテーションにおける介護者への介入の必要性を検討する。 |
| 審議結果 | 差し戻し |
| 意見 | アンケート用紙を提出する事。 F A X 番号を訂正する。328-1920→328-1921 |
| 新規研究計画の審議 | |
| 申請者 | 山添 智子 |
| 研究名 | 高齢者のずれ力と脊柱後弯の関連性 |
| 研究内容 要旨 | 褥瘡に対する外力の基礎的知見を得るため、高齢者のずれ力と脊柱後弯の関連性を調査する。 |
| 審議結果 | 承認 |
| 意見 | 前回の倫理委員会の意見に沿って研究計画が修正されている。 |